

## 第三回住居表示審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年10月30日(金)  
午後2時から午後3時30分まで
- 2 場所 東海村役場205会議室
- 3 出席者 審議会委員 14名(敬称略)  
寺門 喜八郎, 伊藤 良治, 佐藤 美智子, 松尾 ヒサ子, 木村 和宏,  
瀧本 勝也, 猫塚 栄喜, 近藤 忠美, 岩崎 薫, 加藤 かおる, 菅田 千穂,  
小林 一夫, 石上 イク子, 阿部 照子
- 事務局 3名  
澤畑住民課長, 豊嶋係長, 川崎主事(会議録作成)

4 欠席者 1名 大塚 茂 委員

5 公開又は非公開の別 公開

- 6 議題
1. 開会
  2. 委員長挨拶
  3. 議題  
(1) 住居表示事業第6次地区の新町名案住民アンケート結果について
  4. その他
  5. 閉会

- 7 配布資料 (資料) 第3回東海村住居表示審議会次第  
(事前配布資料1) 新町名に関するアンケート結果について  
(事前配布資料2) 住居表示事業第6次地区の新町名に関するアンケート調査  
(資料1) 東海村住居表示整備実施基準  
(資料2) 町名に関する区割り図面  
(資料3) 住居表示事業 第6次地区実施スケジュール(案)【改訂版】

8 発言内容

開会(午後2時)

寺門委員長 皆様、こんにちは。定刻となったので、ただ今から第三回東海村住居表示審議会を開催する。本日は、お集まりいただき感謝する。本日は前回の住民アンケートの結果が出たので、その結果を参考に新町名を決定したい。皆さんの忌憚のない意見をお願いしたい。

澤畑課長 第三回目の審議会ということで、今回も議事録を作成する。初めに、今回の審議会の議

事録署名人について、事務局で指名させていただいてよろしいか。たくさんの方に経験していただきたいと考えており、事務局としては、猫塚委員，加藤委員，男女1名ずつお願いしたいと考えているが。

全委員 異議なし。

澤畑課長 よろしくお願ひしたい。警察署長の犬塚委員は、所要の為欠席という連絡をいただいている。一名の欠席であるが、当審議会は成立している。

#### (1) 住居表示事業第6次地区の新町名案住民アンケート結果について

澤畑課長 それでは、事務局から、住民アンケートの結果について説明申しあげる。

豊嶋係長 事前配布資料の新町名のアンケート結果について報告させていただく。アンケートについては、舟石川一区と二区の自治会加入者、計500世帯、及び自治会加入世帯以外の意見も参考にするため、実施区域内のアパート在住者、計100世帯を対象に、平成27年9月18日から10月10日までの期間で行った。アンケートの配布・回収については自治会分については寺門委員長、伊藤副委員長にご尽力いただいた。アパートについては、市内の不動産業者4社にご協力いただいた。

アンケートの自治会加入者の内訳は、舟石川一区が350世帯、舟石川二区が150世帯、計500世帯配布し、回収数は216件、回収率は43%だった。

アパート在住者は100世帯配布した。回収数は33件、回収率は33%となっている。

アンケート回収状況は、自治会加入者及びアパート居住者併せて、配布数が計600世帯、回収数249件、回収率42%という結果だった。

続いて、アンケート回答の内訳について説明する。住居表示審議会として「大山台一丁目・二丁目」、「舟石川駅西五丁目・六丁目」、「舟石川一丁目・二丁目」という3つの新町名案を提示して、アンケートを行ったが、その結果最も多かったのが「舟石川一丁目・二丁目」で、全回答数の68%を占めていた。次いで、「舟石川駅西五丁目・六丁目」が18%、「大山台一丁目・二丁目」が9%という結果だった。アンケート結果の2枚目以降は、各自治会・アパートごとの個別の内訳になっているので、読み取りいただきたい。

アンケート結果についての説明は、以上である。

澤畑課長 今回の結果は、正直想定外だった。「舟石川駅西」になってから12年経っていて、「舟石川駅西」がある程度は認知されているだろうと思っていた。「舟石川駅西五丁目・六丁目」と、「舟石川一丁目・二丁目」は大体同じくらいになるだろうと想定していたが、結論からいうと全然違い、アンケートの中にもあるように「舟石川駅西は絶対反対」という意見もあった。舟石川駅は無いというイメージが強いということを感じた。アンケートの意見を見無視する訳にはいかないのではないかなと思う。

前回の審議会で小林委員から、「舟石川一丁目・二丁目」は大丈夫なのかという意見もあった。東海村で最初に住居表示を実施したのは東海駅西口周辺地区であるが、ここでも新町名についてアンケートを実施し、広く意見を募ったところ「舟石川」という名称を希

望された方が多かった。しかし、これをそのまま採用すると、他の舟石川地区と混同してしまうというご意見があり、敢えて、舟石川の後ろに「駅西」を加え、「舟石川駅西」とした経緯がある。

今回のアンケートでは、「舟石川」いう名称を残したいという思いから、「舟石川一丁目・二丁目」を希望された方が多かったと思われる。事務局でも、「舟石川一丁目・二丁目」で本当にいいのかということ再度調べてみたところ、仮に「舟石川一丁目・二丁目」を採用するとなると、既に住居表示を実施している「舟石川駅西」や「舟石川駅東」においても、「舟石川一丁目・二丁目」とすることが出来たのではという意見が出て、混乱が生じると推察される。よって、このアンケート結果をそのまま素直に受けることは厳しいと感じるが、この点も踏まえて議論いただければと思う。

寺門委員長 皆さんもご存知のとおり、「舟石川駅西」が非常に不評だった。

伊藤副委員長 「舟石川駅西」では字数が多すぎる。「舟石」だけでもいいという意見もあったようだ。

近藤委員 事務局からそう言われると心外である。前回の会議で「舟石川一丁目・二丁目」は、払拭されたように思えた。だからアンケートに記載されたと思っていた。

寺門委員長 その他、意見はあるか。

伊藤副委員長 提案としては、「舟石川〇丁目」が駄目だというのなら、頭に「新」をつけて「新舟石川一丁目・二丁目」にしてはどうか。駄目だというのであれば、最初から「新」をつけてアンケートをとるべきだった。一字長くなるが、いかがか。

寺門委員長 「新」が付くだけで、大分イメージは変わるし、「舟石川」の名称が残るので、良いと思うがどうか。その他、意見はあるか。

近藤委員 あくまで、アンケートの結果で審議したほうが良いのではないか。

寺門委員長 事業所の方、ご意見はあるか。郵便局としてはどのように考えるか。

木村委員 郵便局は、郵便番号で管理しているので「舟石川」となっても誤配や混乱が増えることはない。

寺門委員長 重複して困るということはないか。

木村委員 新しい町名が決まれば、町名ごとに7桁の郵便番号が決まるので、特に問題ない。郵便局では1地区スムーズに配達を実施するためのルートを覚えるのに、半年～1年かかる。また転出入や個人情報情報の漏洩もあるので細心の注意を払っている。

伊藤副委員長 駅上り線の西側も住所は「舟石川」だ。「舟石川駅西」だったら、はっきりする。

豊嶋係長 近隣のひたちなか市に東石川ということがある。「東石川〇〇番地」と「東石川〇丁目〇番」がある。ひたちなか市役所に電話して聞いたところ、今でこそ、わかりにくいというのは減ったが、当初は不都合が生じたそうだ。東海も今同じ状況にあるということをお伝えしたら、もう少し考えたほうがいいのか、という助言をいただいた。

松尾委員 アンケート回収率が自治会加入者でも43%で、半分以下なのが気になる。それ以外の回答しなかった方はどう考えているのか。

澤畑課長 前回（平成19年度・舟石川駅東地区）や前々回（平成18年度・東海地区）に比べるとアンケート回収率は圧倒的にいい。前回・前々回は、対象エリアの世帯全員に配布し、約13%の回収率だった。

また、前回の審議会の中で、「自治会の加入者のみのアンケートはどうか」という話になり、今回、敢えて4つの不動産会社にお願ひし、ご協力いただいたので、回答率は今までに比べれば決して悪くないと思う。

松尾委員 回答を出さなかった方も、「舟石川〇丁目」に賛成な感じなのか。

伊藤副委員長 舟石川一区は回収率29%で、二区は79%で、回答内容は「舟石川一丁目・二丁目」が多いのは同じだ。回収率は関係ないのではないか。

近藤委員 回収率を問題にするのはいかがか。せつかくアンケートを行い、平等に回答する権利があったのに回答しなかったのは仕方がない。

前回「舟石川〇丁目〇番〇号」と、「大字舟石川〇番地」は、混同しないという話だったので、納得いった。混同するならば、最初からアンケートに入れるべきではなかった。

伊藤副委員長 今回、ひたちなか市にも聞いて、混同するので問題だということが分かった。

佐藤委員 根本的に、地域の町名を変えていくのが、舟石川全体を行うのであれば、問題なかった。「舟石川」の起源は石川姓があった「本郷」地区にある。その本郷を差し置いて舟石川の名前をとってしまった方がいいのかというのが「舟石川駅西」になった要因だ。

近藤委員 そこにこだわったところが、一番の原因ではないかと思う。

佐藤委員 前回、「舟石川一丁目・二丁目」になったときに何も言わなかったのは、舟石川駅西が既に定着しているのではないかという考えがあったのと、本郷の人たちが、世代交代しているもので、「舟石川」にこだわりがないのではという思いもあったからだ。一丁目、二丁目は東海駅から順に決めていく訳だから、今後「舟石川」が続いても、国道6号に向かって、三丁目、四丁目とずっと続いていけるのではないかということを考えていた。

伊藤副委員長 舟石川コミセンの住所は舟石川だ。今議論しているのは、駅上り線ともみじ通りとかえで通りの中だ。

佐藤委員 こだわるなという意見があったが、古い地域の今までやってきたところはほとんどこだわられた。そのため、苦勞をして地名を決めてきた。

本郷は舟石川の大元だった。公民館辺りから移住して行って新田、舟石川コミセンの辺りから手前の中本郷、この3つから村が発展してきたという事実がある。奥の肝心なところが、地域から抜けている。全部あれば、問題なくスムーズに行く。

伊藤副委員長 この先も住居表示地域は広げていくのか。

澤畑課長 現時点では、住居表示区域はこのエリアまでしかない。この先をやるかどうかは、また議会にかけてやっていくことになる。

近藤委員 区画整理が無ければ無いだろう。

豊嶋係長 今残っている舟石川は、調整区域で、基本、家が建たないところである。家が建っている地域に住居表示の需要があるので、これからの区域はないのではないか。

伊藤副委員長 住所が「舟石川」という地域はたくさんある。国道6号の西側もそうだ。

近藤委員 前回の会議では、混同しないという話だったが。

小林委員 私も、もともとは「舟石川」にこだわっていた。舟石川だけだと紛らわしいという問題が出てくるから、前回「舟石川町」とか「舟石川」に何かをつけて町名を提案した。しかし、前回の段階で「舟石川一丁目・二丁目」でアンケートをとるということになったので、

「舟石川一丁目・二丁目」でいいと思う。初めから「舟石川」だけで駄目だということであれば、アンケートに載せる必要はなかったのではないか。

近藤委員　ここでは、「本郷」とかにこだわってアンケートに回答した人はいないと思う。

伊藤副委員長　周りの友人は、「舟石川駅西」は字が長いから「舟石川」がいいという意見だった。

寺門委員長　これからの時代の人に意見を聞きたい。

阿部委員　「舟石川一丁目・二丁目」になったときは、舟石川には舟石川1-0という住所はないのか。仮にあるとすれば、「舟石川一丁目・二丁目」とすると分かりにくいのではないか。

小林委員　舟石川1番地があるかということか。

豊嶋係長　舟石川1番地〇〇は、あるのではないか。

木村委員　分筆していれば、あり得る。街区の表示があつて、ハイフンが入れば、郵便局で間違えることはない。

岩崎委員　郵便番号も変わるのか。

木村委員　郵便番号の変更は出てくる。

伊藤副委員長　「舟石川〇丁目」でも、絶対間違わないというのであれば、アンケートどおりがよい。

澤畑課長　今回のアンケートは、言葉を選んで実施している。「この中から選ぶ」とは、ひと言も書いてない。様々な意見が出て、もう一回話し合い今後の検討課題にする。出た意見で多いものを付けなければならない訳ではない。なるべく間違いがない、混乱しない町名がいい。

前回、加藤委員から「舟石川内（うち）」や「舟石川新」とかを付けてはどうかという意見もあったが。

繰り返しになるが、これほど「舟石川駅西」が人気がないとは思わなかった。

松尾委員　第1次住居表示実施地区である「舟石川駅西」も本来ならば、「東海駅西」が当然であった。しかし、「舟石川」を残したいという意見が多数出て、「舟石川駅西」となった。

佐藤委員　委員の方全員一致で「舟石川駅西」を押された。「舟石川駅西」が文字数が長くて地域の方に不評だったので、その反省を踏まえて、東からそういう意見が出ないのではないかと想定していたが、「舟石川」を残したいから「舟石川駅東」でいいとなった。

松尾委員　「東海〇丁目」にした時はどういう経緯で「東海」に決まったのか。

豊嶋係長　過去の資料から紐解くと、「白方」と「舟石川」という地域が占めていた。どちらかの地名をとると感情的にトラブルが出てしまうということと、当時、市町村合併が盛んに行われていた。今後、東海村が合併により「東海」がなくなるかも知れないという懸念があった。役場もある区域だし、「東海」という名を残そうという委員の強い意見で決定した経緯もある。

松尾委員　住民の意見ではなく審議会での意見ということか。

豊嶋係長　住民の意見も参考にしつつ、「東海」という町名になった。

伊藤副委員長　「舟石川一丁目・二丁目」が悪い理由をとことん追求しよう。問題なければ、7割を占めているのだから、アンケートのとおりでいいような気もする。

澤畑課長　危惧するのは、「舟石川駅西」・「舟石川駅東」の方々の感情である。これらの地区でも「舟石川」を希望した方が多かったが、混乱が生じる恐れもあることから、敢えて「舟石川駅西」・「舟石川駅東」とした。今回も法的には駄目ではないが、感情的・道義的な問題が出

てくることが想定される。

寺門委員長 紛らわしいのが一番困る。

伊藤副委員長 「舟石川」の前に「新」がつけば、「あの地域しかない」と思う。

松尾委員 「舟石川駅西」の方々を「舟石川〇丁目」に変えられれば良いが。

事務局 議会にかけたり、住民にも改めて説明しなければならぬので、難しいと思う。

近藤委員 確かに「舟石川一丁目・二丁目」になると、今までの「舟石川駅西」や「舟石川駅東」で決まった方が「何だよ」となると思う。

澤畑課長 今回の区域は比較的他所から越されてきている人も多い。新しいまちづくりも出来てくると思う。新しいスタートを切るという意味で伊藤副委員長に提案していただいた「新舟石川」は、いいのかなと感じる。

豊嶋係長 今回議論している区域を「舟石川駅西五丁目・六丁目」とするのであれば、もっと駅前であれば良いと思うが、東海駅から少し遠いので、無理があるのではないかとも思う。

近藤委員 「新」をつけるとまた長くなってしまう。

小林委員 「中舟石川」はどうか。

伊藤副委員長 アンケートの結果が50%くらいなら「舟石川駅西五丁目・六丁目」でも良かったが、「舟石川一丁目・二丁目」が7割近いとなると、この結果は無視できない。

澤畑課長 「舟石川」に皆さんがこだわりを持っている。「舟石川」を入れて、折衷策を考えたい。

近藤委員 「舟石川一丁目、二丁目」がどうしても駄目だという問題があれば考えるが、問題ないということであれば、「舟石川一丁目・二丁目」でいきたい。

寺門委員長 新たに発するという意味で一字多くなるが、「新」をつけ「新舟石川」は、非常に良いかもしれない。

伊藤副委員長 「新舟石川」と聞いて、あの辺りのことだとすぐ分かる。

「舟石川」が町名になると、あちこちに「舟石川」が出てくる。同じ町名なのは問題だ。

寺門委員長 そこが問題だから「新」をつけるのは良い。

伊藤副委員長 新町名については、議会に通して説明するのか。

澤畑課長 議会に通す前に審議会でもまとまった意見を村長に答申する。その後、30日間告示することになる。

豊嶋係長 資料のNo.3「住居表示事業 第6次地区実施スケジュール(案)【改訂版】」に基づき今後の予定を説明する。今日までの部分が網掛けになっている。事務局としては、今日の話し合い結果について地元の方にお伝えいただき、11月の半ばから下旬にもう一度審議会を開き、村長に答申したい。新町名については、12月から公告する。公告期間中に、異議申し立てがなければ、3月の議会に諮る。来年度、地元説明会等を開き、多少前後はあるかと思うが、平成29年6月を目処に住居表示の実施を考えている。

伊藤副委員長 議会ですっきり返って戻ることはないか。

澤畑課長 絶対はないとは言えないが、これまではない。

また、平成29年6月には区画整理事業の見通しがつく、との話も聞いている。

豊嶋係長 今回の予定では、区画整理の換地処分と併せて住居表示を実施しようと考えている。

澤畑課長 結論からいうと、「大山台一丁目・二丁目」と「舟石川駅西五丁目・六丁目」については

まず、候補から外れたということによいか。

瀧本委員　もう一回アンケートをとることは可能か。

アンケート結果を見ると、「舟石川」は残さざるを得ない。「舟石川一丁目・二丁目」がアンケートでは多かったが、再議論した結果、好ましくないということだった。今回「新舟石川」という提案が出た。理由をつけて、このどちらかで絞りたいという2案で再度、アンケートをとるのはどうか。

澤畑課長　「好ましくない」という理由は、アンケートには書けないだろう。

近藤委員　「新」という意味をつける意味がどこにあるのかというのを考えていた。そこに住んでいる人のことを考えるのか、外から見てわかりやすいというのを考えるのか、どちらを主に考えるかだ。その区域の中に住んでいる人のことを考えるべきではないか。地図を見なければ、東海一丁目がどこか頭に浮かばない。舟石川駅西も12年かかって浸透してきた。使いやすい住所にしてやっていたら、10年・20年経てば、「舟石川一丁目・二丁目」はあそこのことだとわかるようになると思う。中に住んでいる人のことを考えて付けるべきだと思う。

澤畑課長　アンケートをとるとなると「新舟石川」の方が理由が付く。

豊嶋係長　「舟石川一丁目・二丁目」とするのが、困難であるということを書き記せばよいのか。

伊藤副委員長　アンケートをもう一度とるとするのは無いだろう。もしアンケートをとるのであれば、「舟石川一丁目・二丁目」が駄目だという理由をはっきり言う。併せて、「大山台」と「舟石川駅西五丁目、六丁目」は少ないから駄目ということも明記する。

住んでいる人は、アンケート結果どおりが短くてよいと思う。なぜ駄目なのかということをはっきりしなくてはならない。郵便局で紛らわしくて駄目だというのがあれば良いのだが。

豊嶋係長　区域の中に住んでいる人を最優先に考えるべきだと思うが、同時に道義的な部分も考えて議論すべきだ。

伊藤副委員長　町名が同じで、番地だけで区別していいのかというのが大きな問題ではないか。舟石川はまだ残っている地域もある。特に大通りに囲まれている中の地域。

豊嶋係長　資料No.2の図面にある村松北を議論した時も、村松〇丁目という声が一番多かったが、舟石川駅西の例もあり簡単に「村松」だけにしてはどうかという議論になり、北をつけて「村松北」になった経緯がある。「白方」も同様、後ろに中央をつけ「白方中央」になった。

澤畑課長　村松虚空蔵尊のある「宿」や、「押延」の辺りも「村松」で、広い。

近藤委員　このときに、面倒だという意見はなかったのか。

豊嶋係長　今のところ聞いたことはない。

加藤委員　友人は、舟石川駅西に住んでいる人が多いが、「舟石川駅西」のことを「駅西」と略して言う。あまり長い町名だと、略してしまい「駅西」・「駅東」で通じてしまうので、「舟石川」を全く重要視した意味がない。だから短い方がいいと思い、「舟石川」を推薦した。そこに至るまで「舟石川内（うち）」や「舟石川新」をつけたりいろいろ考えたが、「舟石川」は耳に馴染んでいて親しみがあつた。自分の家の辺りは新たに建った家が多いので子どもたちも舟石川を使いたいと言っている。どうしても駄目なら、一文字くらい何か付けるのは

いいのではないか。

豊嶋係長 「村松北」は「舟石川駅西」の後に実施した区域だが、「舟石川駅西」は長かったから、この区域は短くしようという意見で、3文字の「村松北」に決まった。

佐藤委員 船場石川とか石川という言い方は昔の古い人はしていた。今は、石川という人はいなくなったと思う。

寺門委員長 重複して付けるのは好ましくないということなので、「新」を前につけるか後につけるかはわからないが、「新」といえば、区画整理したところだとわかり、「新舟石川」がいいと思うがどうか。

伊藤副委員長 そうなった理由をはっきり示さないと、せっかくアンケートをとったのになぜ「新」がつくのかと住民に聞かれるだろう。

澤畑課長 「大山台一丁目・二丁目」と「舟石川駅西五丁目・六丁目」の2つは、少なかったので候補から外す。そのまま「舟石川」を使用するのは、舟石川地区全体のことを考慮すると非常に紛らわしいのではないかという懸念があるので、「舟石川」の頭に「新」をつけてみようという結果になった。次回の審議会で結論を出したい。「新舟石川」という案について少し周囲の人の意見を聞いてみてはどうか。

豊嶋係長 「新」とする理由は、区画整理によって出来た新しい町並みであり、新しい地域だというイメージが浮かび、「新舟石川〇丁目」とした理由は、容易に起つと思う。「新」が付く地域は他にもたくさんあり、今思い浮かぶだけでも、新大久保や新横浜等、「新」がつく地域もあるので、違和感はないと思う。

近藤委員 「新」をつけて、50年、百年経ったときに、「新」だと、どう思うだろうか。

豊嶋係長 「舟石川〇丁目」とするのに躊躇する理由は、他の「舟石川」の地域とのバランスもあるのが一番大きい。

寺門委員長 次回の審議会はいつ開催するか。

澤畑課長 次回は11月20日（金）午後2時から行いたい。場所は、後日連絡する。

それまでに、説明資料の経緯を作成して委員の皆さんに送る。それを元に周囲の意見を聞いていただき、次回審議会として町名を決定していただきたい。

## （2）その他

豊嶋係長 資料No.2 をご覧いただきたい。地図の左上にある[A]と[B]が今回の住居表示の区域だ。[A]の区域を「〇〇一丁目」として、[B]の区域を「〇〇二丁目」としたいと考えている。

そう考えている理由が舟石川駅西一丁目も、舟石川駅東一丁目も富士山線の左側に一丁目があるためだ。

他の区域については、東海村における住居表示実施の起点となっている東海駅に近い所を一丁目としていた。この理屈からいくと、[B]が「〇〇一丁目」になるが、他の地域との整合性を考えて、[B]を「〇〇一丁目」とするのは、適当でない。駅から離れている[A]を「〇〇一丁目」[B]を「〇〇二丁目」にしたいが、いかがか。

岩崎委員 自治会も[A]は、「舟石川一区」で[B]は「舟石川二区」が大部分なので、わかりやすくてよ



いのではないか。

全委員 異議なし。

豊嶋係長 では、**A**を「〇〇一丁目」、**B**を「〇〇二丁目」としたい。

寺門委員長 本日の審議会は以上で終了する。お疲れ様でした。

閉会 (午後3時30分)

※平成27年11月9日、議事録署名人に内容確認済。